

穂高岳（上高地～岳沢）山頂の無いハイキング山行報告

(山 域) : 穂高岳

(コース) : 上高地⇄岳沢（岳沢小屋泊）

(日 時) : 2017年11月03日（金）～04（土）

(天 候) : 3日 快晴 4日 雨

(参加者) : 田中孝平 単独

(山行タイム) :

3日 自宅 2:30⇒沢渡 7:30 着⇒アルピコバス⇒上高地 BT 8:30 着

上高地☛（途中ホテルの喫茶タイム）☛岳沢小屋 12:30（泊）

4日 岳沢小屋 7:30☛（途中ホテルの喫茶タイム）☛9:45 上高地 BT⇒アルピコバス

⇒沢渡 BT⇒自宅（市原） 19:45 着

(山行報告)

3日 紅葉が沢渡から釜トン付近に降りてきている中でカラ松の黄色を眺めながら上高地入りをする。

上高地はくっきりと晴れ吊り尾根稜線と穂高峰々が、薄っすらと雪を抱き見渡せる。

急ぐ旅ではないので五千尺ロッジでコーヒータイトとする。



【梓川と岳沢から吊り尾根を望む。

河童橋より焼岳を望む。】

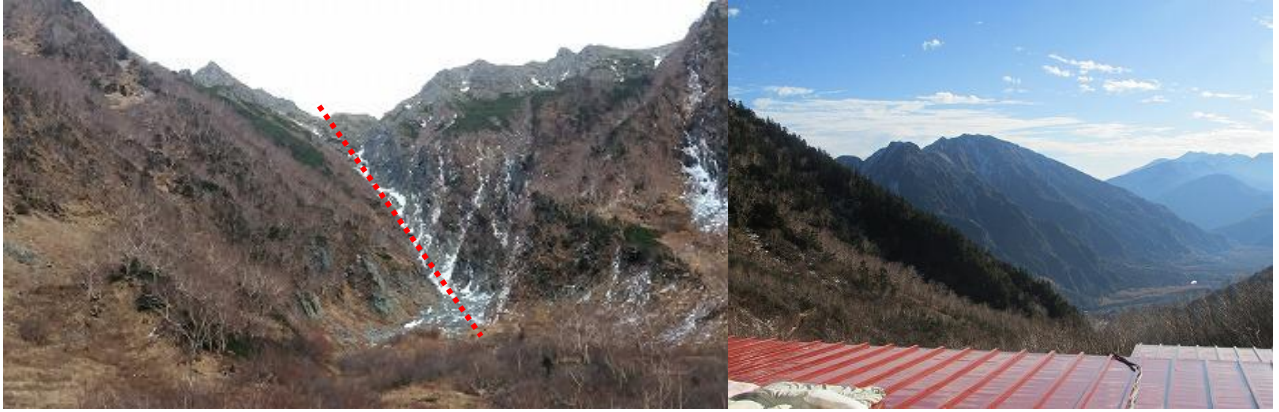
梓川右岸の散策路を15分ほど進み岳沢へコースをとる。



六百山と綺麗な水面を眺める。

のんびりのんびりと歩いてても昼過ぎには岳沢小屋に着いてしまった。

小屋にチェックインし冬支度中の中で1つ残っている部屋に入り布団が3枚！部屋は1部屋しか無く（他は冬支度済みで封鎖）、今宵は3人の泊り客であると想像がつく。まだ、日が高いので薄っすら雪の着く山並みを肴にハーフワインを片手に野外ベンチに行くと待ったりが幾人かおり、私も待ったりを決めワインを頂く。



【明神岳を越え最低鞍部から岳沢への残雪期下降路のルンゼを見る。霞沢から乗鞍方面を望む。】

かくて夕食となり女性単独1名・男性単独1名・私の3人での食事。

小屋にはまだ売るほどの酒が有り余り消費に3人とも協力して静かな夜は☆空で更けていく。

部屋も同室であるので、しばし語らいの場を設けて一期一会を楽しむ。

4日 朝起きると予想したとおりに雨の朝であった。急ぐ旅でもなくゆるりと起きてゆるりと食事を頂き、朝のコーヒーに雨にけむる山並みを眺めつつ、下山にかかる。



【雨の岳沢と冬支度の岳沢小屋】

2名の同室者に別れを告げて一人トポトポと上高地に向かう。

途中で同室の女性が追い付いてきて旅は道ずれよろしく雨の梓川沿いの散策となる。五千尺ホテルでチーズケーキ+コーヒーで雨の上高地に別れを告げて家路につく。

